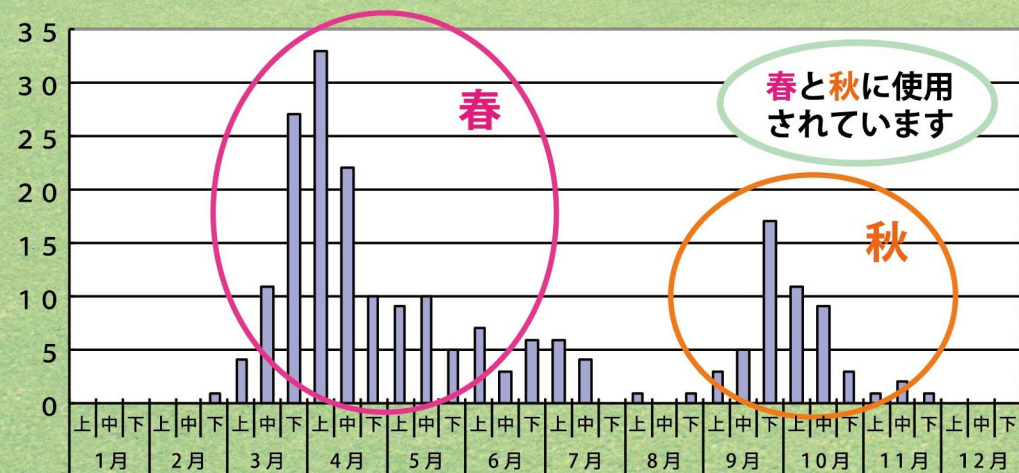


3. 秋処理、春処理に使用できるインプールの使用時期

アンケート結果から*2013年全国の303箇所のゴルフ場キーパーさんからアンケートに回答いただきました。その集計結果です。



実用薬量での効果持続期間は春処理で約2～3ヶ月、秋処理で4～5ヶ月程度です。

春処理の効果イメージ

春処理：0.04g/m²で梅雨時期まで抑草



秋処理の効果イメージ

秋処理 0.04g/m²で春発生の広葉雑草、ヒメクグを抑える！



イネ科雑草と広葉雑草が混生している場合は、イネ科雑草防除剤を同時に使用すれば満足できる雑草管理が可能となります。インプールは雑草の発芽前から生育初期まで使用できるので、イネ科雑草防除の土壌処理剤だけでなく茎葉処理にも混用して使用できます。

雑草発芽前の場合 ⇒ インプール 0.04g～0.05g/m² + イネ科雑草防除用土壌処理剤
雑草生育初期の場合 ⇒ インプール 0.04g～0.05g/m² + イネ科雑草防除用茎葉兼土壌処理剤

適用作物と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	m ² 当たり使用量		本剤およびハロスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数	使用方法
			薬量	希釈水量		
日本芝	広葉雑草 ヒメクグ ハマスゲ	芝生育初期～生育期 (雑草発生前～ 生育初期)	0.03～ 0.05 g	200～ 300 ml	3回以内	散布
西洋芝 ベントグラス ブルーグラス	広葉雑草					

登録番号：第20153号 包装：200g×5袋 有効期限：4年

■ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ってください。
- 本剤の所定量を所要量の水にうすめ、よくかきまぜてから散布してください。
- 本剤の散布適期は、雑草の発生前から生育初期ですので、時期を失しないように散布してください。
- イネ科雑草類は本剤に抵抗性が強いので、イネ科雑草が多い場合はこれに有効な土壌処理剤との組み合わせで使用してください。
- 周辺の植物にかかると薬害が生じるので、散布の際は芝生の中や付近にある草花や花木、畑作物に薬液がかからないようその付近での散布はさけてください。
- 夏期高温時には葉焼け等の薬害を生じる恐れがあるので使用はさけてください。
- 本剤の散布に用いた器具類は、使用後直ちに洗浄し、他の用途に使用する場合は薬害の原因にならないように注意してください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

■ 安全使用上の注意

- 誤飲・誤食などのないように注意してください。
- 粉末が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗をしてください。(弱い刺激性)
- 魚毒性：河川、養殖池等に飛散、流入しないように注意して使用してください(藻類)
使用残りの薬液が生じないよう調製し、使いきってください。散布器具・容器の洗浄水は河川等に流さないでください。また、空容器、空袋などは水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

■ 保管上の注意

- 密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷蔵・乾燥した所に保管してください。

[PRTR 該当成分] PRTR1 種 429 ハロスルフロンメチル……75.0%

日産化学株式会社 Lawn & Specialty Products

お問い合わせ

・北海道/東北/関東/甲信越の皆様は……	営業本部 緑化営業部 TEL:03-4463-8290 FAX:03-4463-8291
・近畿/中国/四国の皆様は……	大阪オフィス 緑化営業部 TEL:06-6346-7150 FAX:052-452-8621
・東海/北陸の皆様は……	名古屋オフィス 緑化営業部 TEL:052-452-8614 FAX:06-6346-7230
・九州/沖縄の皆様は……	福岡オフィス 緑化営業部 TEL:092-473-3891 FAX:092-473-3891

除草剤

カツリグサ科に卓越した効果を示す広葉雑草の基幹防除剤
西洋芝にも安心して使用できる芝生用広葉雑草防除剤です。

芝地で問題になる
ヒメクグ
ハマスゲ
広葉雑草
防除薬剤

1. 日本芝、西洋芝にも安心

日本芝、西洋芝にも登録があり、根に及ぼす影響も少ない

日本芝、ターフを形成した西洋芝の生育に対し通常の使用法では影響が認められていません。張り芝直後の日本芝へも使用できます。

播種直後の西洋芝には薬害を生じる場合がありますので、ターフの形成を確認してから使用してください。

2. 広葉雑草およびカヤツリグサ科雑草に優れた効果

比較試験 処理日：2009年4月8日 撮影日：2009年6月24日

0.04g/m² の効果



無処理

オオバコ、ヒメクグ、ツメクサが混生

無処理区の雑草
オオバコ、ヒメクグ、ツメクサが混生



インプール 0.04g/m² 発生前処理

高い除草効果

インプール0.04g/m²区
高い除草効果



対照A剤 0.06g/m² 発生前処理

ヒメクグには効くがオオバコが残る

対照A剤0.06g/m²区
オオバコが残る



対照B剤 0.02g/m² 発生前処理

オオバコには効くがヒメクグが残る

対照B剤0.02g/m²区
ヒメクグが残る

4. 効果を安定させるために 0.04g ~ 0.05g / m² で使用する

インプールは、効果安定のために 0.04g / m² ~ 0.05g / m² で使用します。過去の試験事例から下記の表のとおり安定した効果を示すことが分かっています。

インプール DF の処理時期別除草効果

(0.04g/m² 処理)

雑草名	発芽前 処理効果	生育初期 処理効果
オオアレチノギク	◎	◎
ヒメムカシヨモギ	◎	◎
タネツケバナ	◎	◎
ノボロギク	◎	◎
ハコベ	◎	◎
ナズナ	◎	◎

雑草名	発芽前 処理効果	生育初期 処理効果
イヌタデ	◎	◎
アオビユ	◎	◎
オオイヌノフグリ	△	△
ヒメクグ	◎	◎
ハマスゲ	◎	◎

除草効果：◎著効, ○有効, △やや不十分, ×不十分

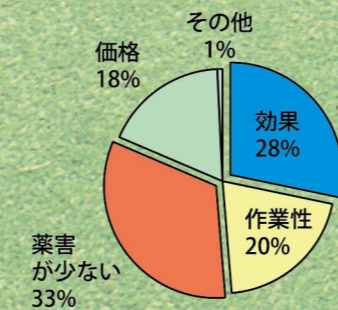
上手な使い方

★雑草の発生前に 0.04 g/m² で使用しましょう。効果が安定します。雑草の発生初期まで高い効果を発揮します。天候の影響で散布時期にずれを生じた場合でも、安心して使用できます。ただし、発生初期の場合、雑草の葉齢によって効果が変動します。発生前までに使用することをお勧めします。

5. ゴルフ場キーパーさんは「薬害が少なく」「安定した効果」を望んでいます

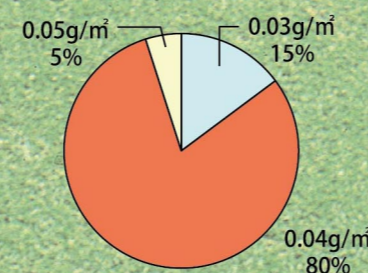
インプールを何故使っているのか？

*2013年全国の303箇所のゴルフ場キーパーさんからアンケートに答えていただきました。



- ・最も多くの方が理由として上げているのは「薬害が少ない」であり、続いて「効果」が受け入れられています。
- ・特徴1の西洋芝、日本芝に安全であることの裏付けになります。
- ・特徴2の効果についても多くの方がその効果に満足していただいています。

インプールの使用薬量は？

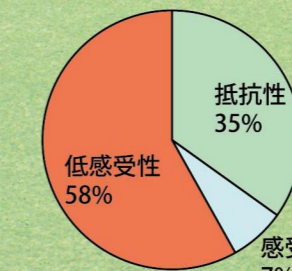


全体の85%が0.04g ~ 0.05g / m² で使用

使用薬量は、85%の方が 0.04g / m² 以上で使用していただいております。安定した効果を求めていることが分かりました。今後も効果安定のため、0.04g / m² の使用を勧めさせていただきます。

6. SU 抵抗性と思われるヒメクグは感受性が混在している

≪事例1≫効きにくいヒメクグが増加



抵抗性検定を実施。低感受性ヒメクグが多い結果となった。しかし、低感受性が多く「低薬量」「高葉齢茎葉処理」がそれを誘引していると考えられるので、「適正薬量 0.04g ~ 0.05g / m²」を散布する「発生前処理」に心掛けるなどの対応策をお勧めします。

日産化学生物科学研究所 抵抗性検定結果 2013年

≪事例2≫感受性ヒメクグと抵抗性ヒメクグが混在している。

日産化学工業(株)生物科学研究所で抵抗性ヒメクグとして持ち込まれた個体を株分けし、それぞれにインプールを散布した。その結果、コロニーには感受性と抵抗性の株が混在していることが分かった。

株分けし インプール DF0.05g / m² 散布 3週間後撮影

日産化学工業(株) 生物科学研究所



これらのことから、低感受性、混在しているヒメクグが、すべて抵抗性として判断されている可能性がうかがえました。

インプール DF は感受性のヒメクグには卓越した効果を示します。そのほかの広葉雑草を含めて防除できるため、まずはインプール DF で防除することをお勧めします。

SU 抵抗性のヒメクグと想定されるゴルフ場の皆様に、日産化学は、SU 抵抗性ヒメクグの抵抗性検定を実施するだけでなく、優れた効果を示す「ハブーン乳剤」との体系処理をお勧めします。